

事業評価報告書 (高知県立月見山こどもの森 平成24年度実施業務)

項 目	評価できる取り組み等	改善すべき課題
1 管理運営に関する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・少ない職員配置であるが、イベント時は地元ボランティア団体と連携を図り、施設の運営にあたっている。 ・蛇等の危険に関する注意標識を随所に設置し、来園者に注意喚起を行っている。 	遊具での事故を受け、施設そのものも老朽化してきている現状であり、今後同じことが起きないように施設管理に万全を期し、利用者が安全に利用できるよう県と協力しながら最善の努力を行ってほしい。
2 事業の実施に関する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた人員の中で、地元ボランティア団体等と連携し、竹トンボ大会、木工教室、森の学校、出前教室などのイベントを工夫されて実施し、利用者のニーズに合わせたプログラムを積極的に提供している。 ・施設案内やイベントの情報提供をホームページで公開し、団体・学校等へのパンフレットの配布、行事の広報紙や高知新聞への掲載、「ほのぼの通信」の作成等を実施し、利用促進を図っている。 	なし
3 利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具使用禁止の影響もあり、利用者数21,880名(前年度比6,414名減)となったが、今後も引き続き、施設の特徴を活かし、利用者増加に向けた運営の工夫に期待したい。 	なし
4 収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・軽微な現場作業は、職員で実施し、材料は安くて良い品を購入することで経費節減に努め、最小の経費で最大の効果を上げている。 	なし
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理については、管理方法を見直し、危険回避のための方策をとり、今後同じことが起きないように万全を期すこと。 ・少ない職員体制であるが、地元ボランティア団体等の協力を得て、あらゆる利用者のニーズに応えようと、多岐にわたる事業や出前による事業の実施など惜しみない努力をし運営が行われている。 ・今後も継続して、充実した事業を実施し、利用者の増加に向け取り組むことが望まれる。

- 【評価の基準】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

業務の改善についての意見

改善を求める事項
利用者の安全・安心に配慮した施設管理の方策
今後、充実させて取り組むべき事項
<ul style="list-style-type: none"> ・イベント時には、地元ボランティア団体の協力を得て実施しているが、今後施設を維持していくうえで、地元の方たちの後継者を育てていくことも必要である。大学生や山に興味のある若い方、また中学・高校生の職場体験など、体験ボランティア等を実施し、次を担う方たちへ繋いでいくことも重要である。若い方たちの視線からみて、山をどのように利用すれば楽しいかという面白さもあり、可能性が膨らむ。県立の施設を、地元も含め県と横の連携を図ることが望まれる。